



平成30年2月28日放送

検査や手術の時に中止する薬について

総合病院土浦協同病院 薬剤師 市川 智之

司会者：今日は、検査や手術の前に中止する薬について教えていただきたいと思います。

司会者：まず、検査や手術の時に薬を中止する理由は何でしょうか？

市川：現在、医療は高度になり治療方法も多様化しています。また、高齢化とともに、検査や手術の件数も全国的に増加していると言われていています。検査や手術を受けなければならない場合、出血や副作用を防ぐために、薬によっては一時的に止めることが必要になります。

司会者：中止する薬は、どのようにして決められるのですか？

市川：まず、普段から飲んでいる薬の情報や、実際の服薬状況を確認する必要があります。白内障手術など出血リスクが低い手術に関しては、薬は中止せずに行うこともあります。医師が患者さんの治療する病名、検査・手術の種類や方法、年齢、性別、身長、体重や、腎臓・肝臓など身体機能を確認した上で決められます。中止した場合には再開時期を適切に判断することが重要になります。

司会者：中止する薬の例をあげていただいてもよろしいでしょうか。

市川：特に問題になるのは、いわゆる「血液をサラサラにする」といわれる血液を固まりにくくする薬です。抗血小板薬と抗凝固薬の2種類があります。近年いくつかの新しい薬も開発されて多くの方が服用しています。

司会者：このような薬は、どのような方が服用されているのでしょうか？

市川：脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、下肢静脈血栓症、肺梗塞等の治療や予防のために使われていることがあります。

司会者：これらの薬を服用したまま検査や治療または外科的な手術を受けると、どのような心配がありますか？

市川：一旦出血すると血が止まりにくくなり、危険なことがあります。逆にこれらの薬をずっと中止して検査や手術を受けると、当然ながら血栓の予防効果が失われ、脳梗塞や心筋梗塞、下肢静脈血栓症などの重篤な血栓症が起こる可能性が出てき

ます。そのため、これらの薬を服用中の患者さんでは、薬を継続する出血のリスクと、薬を中止する血栓症発症のリスクの両者を考慮して中止するか継続するか判断されます。

司会者：その他にも、検査や手術の前に中止する薬はありますか？

市川：女性ホルモン薬や経口避妊薬などもあげられます。静脈血栓症のリスクが上昇するために、服用を中止することがあります。糖尿病の治療をしている方も注意が必要な薬があります。

司会者：糖尿病治療の薬にも、中止する薬があるのですか？

市川：ヨード造影剤を使用する場合、ビグアナイド系といわれる糖尿病薬を一定期間中止することが推奨されています。造影剤検査により一時的に腎臓の機能が低下し、薬の副作用が出現することがあるからです。

司会者：市販薬や健康食品、サプリメントでも、検査や手術に影響があるのですか？

市川：手術の際に出血リスクを高めるもの、麻酔薬などに影響を及ぼすものもあります。健康食品、サプリメントは知らない間に今飲んでいる薬と相互作用を引き起こすことがあります。サプリメントは摂取の中止時期に関して明らかにされていないことも多いのですが、たとえば、さかなの油に含まれる EPA を含有するものなどは、中止していただくことがあります。普段からお薬手帳に健康食品やサプリメントの情報も記入しておくことをお勧めします。

司会者：薬を中止する場合は、どのくらいの期間中止するのですか？

市川：薬には成分ごとに血液中の濃度が半減するまでの時間があり、どのくらいの時間が経過すれば体内から無くなるのかわかります。このため、薬ごとに一般的な目安となる中止期間はあるのですが、個人差があり、手術・検査による患者さんへの体への負担や出血の程度、中止によるリスクを考慮して決定されます。

司会者：アレルギー歴についても申し出ることが必要ですか？

市川：薬を使用したときの蕁麻疹出現やアスピリンや鎮痛剤で喘息出現などの既往がある場合、造影剤や抗菌剤アレルギーがある場合は、使用する薬に注意が必要となるため、あらかじめ教えていただきたいと思います。

司会者：今までにかかった病気についても伝える必要がありますか？

市川：緑内障、前立腺肥大症などある患者さんは、使用する薬に注意が必要なため、疾患情報を教えていただきたいと思います。

司会者：歯医者さんにかかる時も、中止する薬はありますか？

市 川：抜歯などの治療をする時には、抗血小板薬や抗凝固薬は継続する事が望ましいとされています。しかし、ステロイド薬や骨粗鬆症治療薬のビスフォスフォネート製剤は、治療に影響する場合があります。歯科治療後に使用する薬剤との相互作用にも注意が必要なため、内服している薬剤を事前に歯科医師に伝えることも重要です。

司会者：検査や手術で薬を中止していた場合は、いつから再開したらよいのでしょうか？

市 川：まず、出血などが無いことを医師が確認します。再開する日は薬の種類や、疾患、手術後の状態によっても異なるため、忘れずに再開する日を確認していくことが大切です。

司会者：最近、ジェネリック医薬品という言葉も聞きますが、注意することはありますか？

市 川：はい、先発品と異なる製薬会社が、同じ有効成分で製造・供給した医薬品がジェネリック医薬品です。先発品と異なる名前のあるため、薬を中止するときには正確な薬品名の確認が必要です。

司会者：最後に、患者さんに、医療機関にかかる時にお願いしたいことはありますか？

市 川：クスリは反対から読むとリスクとなるように、適切に使用しないと健康被害につながることもあるため、薬に関する情報はとても大切です。医療機関にかかる時には、医師からの紹介状のほかにもお薬手帳、薬の説明書、数が少なければ実際に服用している薬などを持参していただき、目薬や貼り薬、サプリメントや市販薬も含めて、できるだけ使用している薬の状況などが正確にわかるようにしていただければありがたいと思います。

司会者：わかりました。飲んでいる薬が検査や手術の前に正確にわかっているならば、円滑に、より安全に検査や手術を行うことができるんですね。
今日はありがとうございました。

市 川：ありがとうございました。